

SDGs経営立ち上げ支援サービス 診断結果レポート

1. 講評

各分野でESG・SDGsに資する取り組みが見られ、特に「気候変動対策」「ダイバーシティの推進」「安全性・品質」「地域貢献・地方創生」「企業統治（コーポレートガバナンス）」などの項目で取り組みが進んでいます。 「E」の分野では、加温・加水を必要としない温泉を提供する仕組みづくり、余った温泉水を循環させるシステムの導入、湯田温泉地区全体の廃棄物量の把握、リサイクル製品の使用推進など環境保護につながる取り組みが進んでいます。今後は環境マネジメントシステム（エコアクション21）の導入についてご検討ください。 「S」の分野では、就業規則にハラスメント禁止を明記、メンタルヘルス研修への参加などダイバーシティの推進や健康経営に関する取り組みが見られます。また、湯田温泉地区の活性化に向けた施策、地域行事への参加など地域活性化につながる取り組みが進んでいます。今後は、組合員への「やまぐち健康経営企業」の認定取得推進についてご検討ください。 「G」の分野では、経営理念の明文化、事故・災害等の発生に伴う事業中断を想定した戦略の立案、法令遵守の周知徹底、取引先との対等な関係維持など組織統治につながる取り組みが進んでいます。 本業界においては、人材の重要性が特に高く、ダイバーシティの向上や給与水準も含めた労働慣行といったESG課題との関係が深い業界であると言えます。現行の取り組みとともに、さらなるSDGsの取り組みについてご検討ください。	
---	--

2. 項目分析

ESG分類		ESG重要課題	関連SDGs	対応状況	講評・ご提案内容
E	環境	気候変動対策	7.8.12.13	◎	加温・加水を必要としない温泉を提供する仕組みづくり、7つの源泉から出てくる温泉水を貯湯槽に集め各施設へ共有する「配湯システム」の構築、余った温泉水を循環させるシステムの導入による資源保護、地域全体の廃棄物量の把握、廃棄物の削減やリサイクル製品の使用推進、温泉資源の管理維持など環境保護につながる取り組みが進んでいます。今後は以下の項目もご検討ください。 ・環境マネジメントシステムの導入
		廃棄物・リサイクル（3R）	6.8.9.11.12.14	◎	
		大気汚染	12	○	
		土壌汚染	12	○	
		水管理	3.6.12	◎	
		生物多様性	2.6.11.15	◎	
S	人権・労働慣行	人権の尊重	(-)	◎	就業規則にハラスメント禁止を明記、子育て・介護など柔軟な働き方の整備、多様な人材の受け入れなどダイバーシティの推進につながる取り組みが進んでいます。また、健康づくりに関する目標の設定、メンタルヘルス研修への参加、長時間労働の是正など職場環境の改善や健康経営に関する取り組みが見られます。今後は以下の項目もご検討ください。 ・組合員への「やまぐち健康経営企業」の認定取得推進
		ダイバーシティの推進	(-)	◎	
		職場環境の改善	(-)	◎	
		人材育成	3.4.8	◎	
		健康経営・ヘルスケア	3	○	
		取引先企業の情報管理	(-)	◎	
	消費者課題	安全性・品質	(-)	◎	情報の取り扱いに関するルールの設定、面談を通じた情報管理状況の確認、顧客の声を社内共有する仕組みづくり、正確な情報発信の徹底など消費者課題に関する取り組みが進んでいます。今後も現在の取り組みをご継続ください。
		情報開示	(-)	○	
		個人情報保護・知的財産保護	(-)	◎	
	コミュニティへの参画・コミュニティの発展	地域貢献・地方創生	4.11	◎	湯田温泉地区の活性化に向けた施策の実施、地域団体への所属と情報共有、地域資源の活用、地域行事への参加など地域活性化につながる取り組みが進んでいます。今後も現在の取り組みをご継続ください。
		地域の課題解決への貢献	4.11	◎	
		地域文化等への理解	11	◎	
G	組織統治	企業統治（コーポレートガバナンス）	(-)	◎	経営理念の明文化、会計事務所との連携、議事録の作成・保管、事故・災害等の発生に伴う事業中断を想定した戦略の立案、法令遵守の周知徹底、取引先との対等な関係維持など組織統治につながる取り組みが進んでいます。今後も現在の取り組みをご継続ください。
		リスクマネジメント	(-)	◎	
		法令遵守（コンプライアンス）	(-)	◎	
	公正な事業慣行	公正な取引の遵守	(-)	◎	